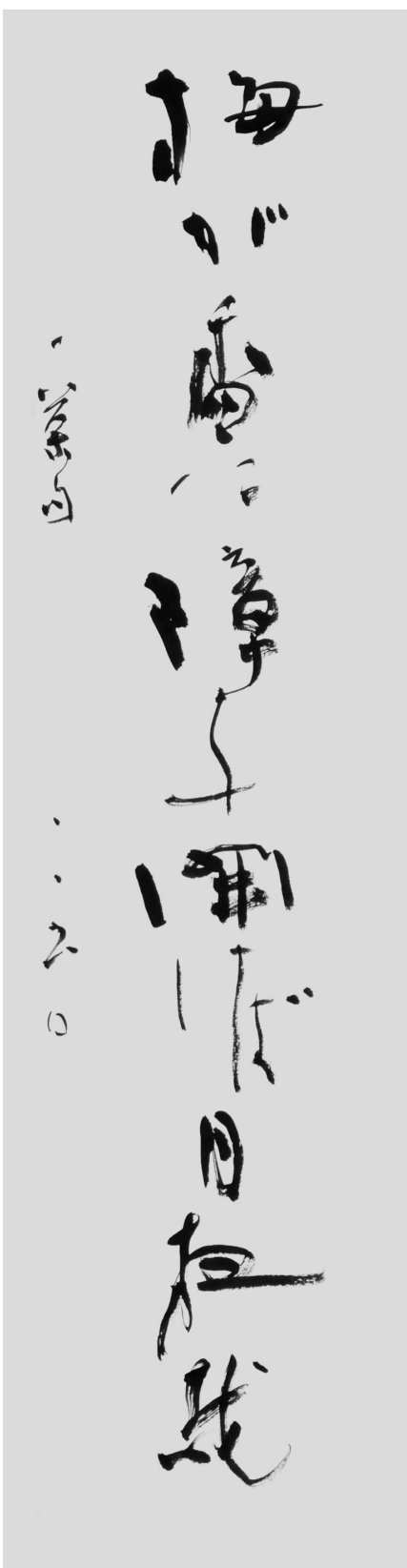


条幅部自由参考

3月25日正午必着

明石春浦先生書



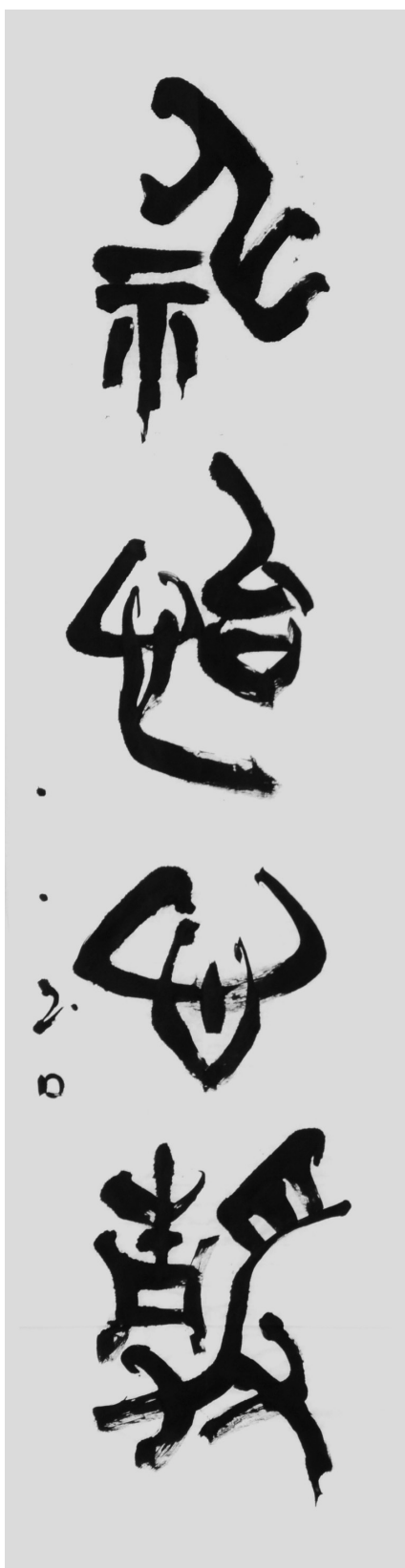
梅が香に障子開けば月夜哉（小林一茶）
うめのか しょうじひら つきよかな

明石幸子書



春還草閣梅先動月満虚庭雪未消（王守仁）
はるそうかくにかえりうめさすつき つきはきよていのみちてゆきいまだきえず

春が再び草閣に帰り来て梅は先ず綻びそうな気配を示し、
 月は人なき庭に満ち雪はまだとけない。



条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

神怡心静

精神が和ぎ楽しんで心が静になる。

身閑夢亦安（畢沅）

身閑かに夢も亦た安し。

身辺に雑事なく、夢まで安らかである。

樹塘日暖花爭發
門巷春來鳥自啼

（金幼孜）

樹塘日暖かにして花争い発き、
門巷春來たりて鳥自ら啼く。

堤のあたりは日ざしが暖かで木々の花は競って
開き、町に春が来て鳥もおのずとさえずる。

山居即事

（王維）

山居即事

王維

寂寞掩柴扉
蒼茫對夕暉

寂寞として 柴扉を掩い 蒼茫として 夕暉に対す

鶴巢松樹遍
人訪華門稀

鶴は松樹に巣くうて 遍く 人の華門を訪うこと稀なり

綠竹含新粉
紅蓮落故衣

綠竹 新粉を含み 紅蓮 故衣を落す

渡頭燈火起
處處探菱歸

渡頭に燈火起り 処処に菱を採って歸る

住みなせば庭の苔地に散る花の音を聞き知る
折もありけり

（加藤枝直）

半紙部規定課題A

3月25日正午必着

酒 無
船 人
泛

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

3月25日正午必着

行書

無
人
泛
酒
船

隸書

無
人
泛
酒
船

明石春浦先生書

草書

無
人
泛
酒
船

行草書

無
人
泛
酒
船

池中の島はすがすがしい木陰におおわれ 遊興の船をうかべる人もない
山中の蟬は鐘をうちならすかのように啼き 花におく露は水晶のようにまるい
静の極みの中に、朝夕をすごし 奥深く観照すれば、すでに玄妙に達する
故郷もちょうどこのようであらうものを どうして帰田の賦を吟じないのであろうか

林館避暑

羊士諤

池島清陰裏

無人泛酒船

山蛸金奏響

花露水精圓

静勝朝還暮

幽觀白己玄

家山正如此

何不賦歸田

林館に暑を避く
羊士諤

池島清陰の裏

人の酒船を泛ぶもの無し

山蛸金奏響

花露水精円かなり

静勝朝還暮

幽觀白己に玄

家山正に此の如し

何ぞ帰田を賦せざる

(出典)

朝日新聞社刊

「三体詩」下より

3月25日正午必着

重親致歡曹景完。易世載德。不隕其名。及



西 墨濤先生臨書

重親致歡曹景完

重親致歡曹景

後漢・曹全碑……（一八五）

秦の始皇帝によって統一された篆書（小篆）は繁雑化していく事務処理にはしだいに用をなさなくなり、字画を簡略化し、直線的にした隸書と呼ばれる文字が多く使用されるようになった。この初期の隸書を古隸といい、漢代になると一般通行体として定着していった。一方、公用体としての小篆もすっかり姿を消し、替わって八分と呼ばれる隸書が広く行われるようになった。八分は八の字を書くように互いに相背いた筆勢を示し、古隸に連筆のリズムを持たせたものである。殊に収筆部分の波のようなはね上げ（波磔）に特徴があり、古隸には見られない装飾性が加わっている。

後漢になると八分隸はますます洗練され、漢碑の流行と共に完成の域に達したとされている。その八分隸の代表的なものとして礼器碑と並び称せられるのがこの曹全碑である。

曹全碑は陝西省郃陽県令であった曹全が動乱を鎮めたことに対し、その功績を讃えた頌徳碑である。長く美しい波磔とよどみなく清らかに澄んだ筆勢は流麗さを感じさせ、結体も見事なまでの整齊さをなしている。この碑を習う際には、水平で扁平な字形、用筆における鋒先を巻きこんで打ちこむ起筆と一字中の一画だけに見られる波磔等が重要なポイントとなる。

漢王朝の末期を飾ると言われる曹全碑の美しさの中にある筆力の強さを意識した運筆を心掛けたい。

（春濤）

△倣書参考▽

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。

淑景晴薰紅樹暖、
蕙風輕汎碧叢低。
淑景
輕汎
碧叢
紅樹
暖蕙

淑景晴薰紅樹暖、蕙風輕汎碧叢低
(馮延登)

淑景は春景色、春の日ざし。蕙風は薰風。
輕汎はそよふく。碧叢は緑の草むら。

淑景晴
輕汎
碧叢
紅樹
暖蕙

重親致歎不隕其景完易
重親
致歎
不隕
其景
完易

重親致歎曹景完。易世載德。不隕其

3月25日正午必着

教育部毛筆

象徴

しょう
象

ちょう
徴

中学一年

雨宮春聲先生書

拝啓

はい
拝

けい
啓

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



さくら
桜

つき
月

小学五年

榎戸春龍先生書



と
都

かい
会

小学六年

藤井良泰先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

3月25日正午必着

百花

藤田幸春先生書

ひゃっ
百

か
花

小学三年

成果

細谷春誠先生書

せい
成

か
果

小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

は と 小学一年・幼年



森戸春濤書

言 う 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

3月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

遊びと勉強の区別
をきちんとつける

小学五年

わたしたちの卒業式
は講堂で行われます

小学六年

友情は試練を糧とし
て成長するものである

中学

大事は力によらずで成らず
不屈の努力によって成る

一般(級位)

沖つ風吹きにけらしなすみよしの松のしづ枝をあらふ白皮

沖つ風吹きにけらしなすみよしの松のしづ枝をあらふ白皮(源 經信)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ざ	ぼ
け	ん
	ぼ
ひ	り
し	
も	し
ち	ろ

幼 年

ピ	音
ア	ぶ
ノ	を
を	み
ひ	な
く	が
	ら

小学一年

で	こ
百	く
点	ご
を	の
と	テ
っ	ス
た	ト

小学二年

細	曲
い	が
道	り
を	く
の	ね
ぼ	っ
る	た

小学三年

か	湖
が	め
や	ん
い	は
て	月
美	の
し	光
い	が

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

岩本景楓先生書

あ
の
下
葉
の
か
く
れ
ゆ
く
か
な
源
通
時
玉
源
通
時
玉

さ
み
だ
れ
に
た
ま
え
の
水
や
ま
さ
る
ら
ん
あ
し
の
下
葉
の
か
く
れ
ゆ
く
か
な
(源通時)